

No.152 2018 JULY

平成30年7月27日発行



愛と復興

6月会議	2
南会津地方町村議会議員大会	6
特別委員会設置	10
一般質問・10名が町政をたぐす	13

発行：只見町議会広報広聴常任委員会
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
TEL. 0241-82-5300 FAX. 0241-82-5222
E-mail: gikai@town.tadami.lg.jp

議会だより



只見町議会中継は、只見町議会
ホームページから視聴できます
←議会中継へ

奥会津工芸の匠
深沢 三瓶庄介さん
(9ページに説明を掲載)

6月 会議

6月会議が12日から15日まで開催されました。一般会計補正予算や条例改正案などを審議、一部に反対討論もありましたが、提案されたすべての議案を原案のとおり可決しました。一般質問には10名が登壇した他、最終日には2件の追加議案を可決。「診療所」と「交流施設」を調査する2つの特別委員会が設置され散会しました。

防災無線 デジタル化

来年度各戸の受信機交換

防災行政無線デジタル化工事の入札が決定したのをを受け、施工業者との請負契約の締結議案が追加提案され可決された。

事が行なわれる。今年度は、現在屋外にあるスピーカー付マストの交換。各家庭の受信機は、来年度交換が行なわれる予定。

これは、国の規則改正により現在の防災無線設備が平成34年以降使用できなくなるため、今年の当初予算で事業が決定していたもので、今後2か年で工

工事計画

- 契約相手……………沖電気工事(株)東北支社
- 金額……………3億8880万円
- 30年度……………パンザマスト(支柱)39ヵ所設置
- 31年度……………各戸へ新たな個別受信機配置



議案説明する町民生活課長

一般会計(第3号)補正予算の主な内容

(歳入)	金額
町税(固定資産税)	1442万円
過疎対策債(スポーツパーク整備)	4780万円
前年度繰越金	6942万円
(歳出)	
庁舎改修設計等委託料	620万円
庁舎改修工事	8500万円
亀岡スポーツパーク駐車場整備工事	4346万円
只見スキー場駐車場改修工事	388万円
橋梁長寿命化修繕工事	1590万円

町下庁舎 第3期工事

3階議場・1階駐車場

旧庁舎の解体設計も

旧只見中学校町下庁舎は、既に2期工事が終り総務課など2階で5月7日より業務が開始されている。今回3階と1階駐車場の第3期改修予算が可決された。主に3階は議場の改修他、監査委員室、資料の保管場所などが整備される。また、現在の議員控室は会議室に模様替えとなる。なお、旧雨堤役場庁舎を取り壊す設計予算も同時提案され全会一致で可決した。



議場改修のため仮議場で会議が行われている

住宅建設 1棟4戸

2月完成を

只見沖地区に計画されてきた公営住宅建設の入札が終り、工事請負契約の締結議案が可決された。審議に当たっては、入札結果や平面図などの詳細資料

を要求。完成時期や家賃など活発な質疑が交わされた。契約の相手方は美馬建設(株)、契約額は1億1307万6000円



只見沖地区の建設予定地

国保税

本年は若干安く
運営H30～県に移行

条例

反対討論

山岸国夫議員

予広に
反対する。
余裕のある
算の組み方
域化そのもの

国民健康保険税条例の改正案が賛成多数で可決された。本年の税率は前年より若干安くなる見通し。
なお、今年から国保の財政運営の責任が県に移行されることにより、今後の見直しなど質疑が相次いだ。

Q 1億円の基金をもつと活用すべきでは。

A 最終的に今年度も基金を崩し納めるようになる。今後統一された場合、急な増税がないよう蓄えておく必要がある。

Q 18歳未満の均等割をなくし子育て支援すべきだ。

A 現在県内に例がない。今後6年後平準化されるが、減免措置も足並みが統一される。

目的

只見町の自然が体験できるアウトドア観光の拠点となる施設として、交流人口の増加を目指す。

現在の施設（抜粋）



管理棟



東バンガロー



古民家



テニスコート

整備内容（抜粋）

- ◇管理棟に利用者のロビー空間を整備
 - ◇東バンガローの老朽化改善
 - ◇古民家内部の宿泊機能の見直し
 - ◇テニスコートをイベント広場に など…
- ※なお、旧管理棟は撤去

4月 会議

青少年

旅行村

リニューアル 決まる

1億9500万円

青少年旅行村は昭和48年に整備されて以来、45年に渡って多くの方に利用されてきたが、オープン当初からの施設などは老朽化が目立つようになってきた。そのため施設全体のリニューアルを図り、時代のニーズに合わせた施設へと改修していくことが決まった。主な整備内容は左下のとおり。今回の改

修計画には株式会社スノーピーク（三条市）が監修として加わる。JR只見線の全線復旧や国道289号八十里越の開通を見据え、只見ユネスコエコパークにおけるアウトドア観光の拠点となる施設として、交流人口の増加へ繋がることを期待する。

集客目標

(H30) 改修工事	(H33) JR只見線開通	(H35) 八十里越 開通
4800人	7500人	9000人

只見町観光商工課資料抜粋

広域 議会

5月30日に議会臨時
会が開かれ、条例案、
30年度一般会計補正予
算、及び工事請負契約
教育長任命など計13議
案が議決された。

工事請負契約では新
消防庁舎の建築主体工
事が約9億8700万
円、電気設備工事が約
2億1400万円、機
械設備工事が約1億7
400万円、木材購入
契約が約8100万円
でそれぞれ締結した。
また、只見出張所に配
置される水槽付消防ポ
ンプ自動車は約470
0万円で購入契約
を締結した。

只見町に 水槽付ポンプ車



新消防庁舎起工式



陳情内容	陳情者	審議状況
30-4 陳情書 「排水路新設及び改良についてお願い」	黒沢区長 酒井 敏	継続 制度と財源等を確認し、実現までの調査を深める。
30-5 陳情書 「刈屋洋子宅一軒家対策のお願い」	長浜区長 赤塚 保夫	継続 町道除雪体制の実態を確認し、協議を深める。
30-6 陳情書 「階段昇降機の設置に関する陳情書」	長浜区長 赤塚 保夫	継続 高齢化の中では、全集落同様の課題であり、今後更に協議を深める。
30-7 陳情書 「下川原排水溝拡幅等に関する陳情書」	亀岡区長 齋藤 修一	継続 県中山間要望事業に対する町の方針を確認し、新たな対策を含めて協議する。

陳情

住民の

切なる願い



陳情者から説明を受ける経済文教常任委員

改良要望

郡議員大会

7月6日、季の郷湯ら
里において第69回南会津
地方町村議会議員大会が
開催されました。
当町は、国道289号
の開通を見据え、只見く
入叶津を結ぶ「仮称只見
トンネル」の他、町内国
道及び県道の整備促進を
要望し、全会一致で可決
されました。



要望を訴える鈴木好行議員

県議長会も決議

平成30年度県町村議会議長
会総会において、国道289
号（八十里越）開通を控え、
受入れ強化を図るため、現道

の拡幅整備、「仮称只見トン
ネル」の開設及び会津縦貫南
道路の整備促進など、重点要
望事項の議決を求めた。



県町村議会議長会総会に
提案する齋藤議長

県道小林～館ノ川線改良要望

現況	要望事項	場所
<p>荒島・熊倉間の通年通行のための防雪施設整備を</p>	<p>冬期間町民は診療所へも行けない</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在県が進めている小林～荒島間、荒島～熊倉間は、災害時など国道の迂回路として極めて重要な路線であるため、防雪施設整備を急ぎ、冬期通行不能区間の解消を図ること。 	荒島地内
<p>両側通行できない小林外出地内</p>	<p>布沢恵みの森などに通ずる重要な路線</p> <ul style="list-style-type: none"> 対向車とのすれ違いが困難な狭隘区間のある亀岡～小林間の拡幅整備を図ると共に、通年通行の確保を図ること。 	小林外出地内

住民悲願

「八十里」開通目の前

国道289号改良要望

道路

現 況	要 望 事 項	場 所
 <p>入叶津から只見中心地へトンネル化を</p>	<p>(仮) 只見トンネルの実現を</p> <ul style="list-style-type: none"> 八十里越開通後の救急医療や利便性を考慮し、只見～入叶津間の約5.2kmが短縮となる仮称「只見トンネル」を実現すること。 	只見～入叶津間
 <p>館ノ川地内</p>	<p>歩道整備を</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道未整備区間の道路拡幅・歩道整備を行ない、歩行者の安全確保に努めること。 	館ノ川地内
 <p>見通しが悪い黒谷化ヶ地内</p>	<p>昔からの危険箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂道とカーブのため、見通しの悪い黒谷化ヶ地内の道路拡幅と改良を図ること。 	黒谷化ヶ地内
 <p>前後が危険な明和橋</p>	<p>子どもの通学に大変危険</p> <ul style="list-style-type: none"> 明和橋は、急カーブのため八十里越開通により更に危険が予想されるため、架け替えを行なうこと。 	小林地内
 <p>見通しが悪い明和振興センター下</p>	<p>早期の危険解消を</p> <ul style="list-style-type: none"> 明和振興センター付近は見通しが悪く、危険なことから、道路の拡幅整備を図ること。 	小林地内

行って見てきました 只見の介護最前線

委員会活動 レポート



総務厚生常任委員会現地調査

委員会では、7月10日町内5カ所の介護施設を担当者の説明を受けながら視察した。まず、各施設共通の課題はスタッフ不足であり、中には利用申し込みがあっても人手が

足りずお断りするほど深刻な事例もあった。施設としては、おしらせばんに求人を書き載せたり、Uターン情報を聞き込みしたり、本気の取り組みが見られた。また、建設から20年近い施設では、建物の老朽化による不具合や設備の相次ぐ故障で対応に困っている事例が多く寄せられた。高齢化した只見町にとって重要な介護施設。現場任せでなく、共に課題の検討や将来の更新等、計画づくりが必要である。

総務 厚生

若者定住には 住宅が必要



経済文教常任委員会行政視察

委員会では、町の最重要課題を若者定住政策と捉え、これらを踏まえた行政視察を6月27日～29日まで行なった。

宮城県色麻町では、若者の「定住化促進」を目的とした50戸の整備を、民間活力を導入して建設している。(町が土地を提供し、民間企業が建設し、それを町が借上げ転貸する。) 当町でも今後継続した住宅政策が必要である。道の駅視察では、宮城県大崎市「あ・ら・伊達な道の駅」と山形県飯豊町「道の駅いいで」の2か所を重点的に調査した。運営体制、農産物の生産・集荷システムなど、課題が山積している。

経済 文教

町民との懇談を積極的にを行います



広報広聴常任委員会 町村議会 広報研修会

5月23日、町村議会広報研修会に参加し、より分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指している。

また、住民の声を少しでも多く町政に反映するため、「議会報告会」や「一般会議」の開催日時、在り方等の検討・調査活動を行なっている。特に一般会議においては町民に対する呼びかけを積極的にしない、より多く

の意見交換を実施したい。更には議会運営の効率化や開かれた情報発信のためのタブレットの導入など、ICT化を今後の調査・検討課題とした。

報 聴 広 広

会 営 議 運

3月会議以降6月会議までの間、議会運営委員会では左記の件が審議された。(抜粋)

- ◇ 6月会議の日程について (2ページ)
- ◇ 議場の改修計画について (3ページ)
- ◇ 旅行村整備に係る全員協議会開催について (4ページ)
- ◇ 4月会議提案予定の議案について (4ページ)
- ◇ 黒沢区長、長浜区長より提出された陳情書の取扱いについて (5ページ)
- ◇ 亀岡区長より提出された陳情書の取扱いについて (5ページ)
- ◇ 平成30年度第69回南会津地方町村議会議員大会要望事項について (6、7ページ)
- ◇ 特別委員会の設置について (10、11ページ)
- ◇ 議会運営委員会視察研修について

表紙の写真

奥会津工芸の「匠」

深沢
三瓶庄介さん

ろくろを用いてお椀木地をひく工人集団を木地屋といい、かつて布沢の奥には太田木地屋敷がありました。そこでひかれた木地は会津若松へ運ばれ会津塗となっていたそうです。

現在その技術を持つ工人は極めて少なく、三瓶庄介さんは奥会津唯一の木地職人として今も自宅工房でお供え用の神鉢などいろんな商品を製作されています。



政策 検証

6月会議最終日、議員提案により町の医療施設と交流施設に係る調査特別委員会が12月までの期間で設置されました。人口減少社会が町の医療にどう影響を及ぼすのか。将来を見据えた調査を総合的に行ないます。

「八十里越」の開通は、町の産業・経済に大きな影響が予想されます。都市との交流拠点として建設された「湯ら里」は、交通環境などが大きく変わろうとしている中で、今後どうあるべきかなど、町の「交流促進」を総合的に調査します。

医療拠点と交流拠点の将来を考える

特別委員会設置

年内を目途に取りまとめ

人口減少社会が加速化する一方、只見町は「八十里越」開通という大きな環境変化を迎えようとしており、これらが、町の医療や産業・経済に与える影響は極めて大きい。提案理由の説明を行なった佐藤孝義議員は、まずこれらの諸課題の把握・共有が大事であり、特別委員会を設置し全

員で協議したいと説明した。審議では反対・賛成の討論がかわされた結果、賛成者多数で設置が決定した。

今後の流れ

30年6月 特別委員会設置

7月～ 過去の検証と課題の把握など

11月 今後の方針・将来像など

12月 委員長報告・町長に提言

町は今大きな変化の時 町の将来を議論

国保朝日診療所に係る調査特別委員会	
目的	町の医療の総合検証、朝日診療所の将来構想の構築に資する調査
委員構成	議長を除く全員（委員長・酒井右一 副委員長・山岸国夫）
期間	平成30年12月会議まで
調査項目	診療所の沿革・現状、八十里越開通による救急医療体制の変化など

○	○	×	○	×	○	○	×	○	欠
山岸国夫	鈴木好行	藤田力	目黒仁也	中野大徳	大塚純一郎	目黒道人	鈴木征	佐藤孝義	酒井右一

賛成討論	<p>■ 担当委員会だけでなく議員全員が中身を共有することがまず大事だ。</p>	反対討論	<p>■ 担当委員会で議論を詰め、その結果を見て特別委員会に移行すべきだ。</p>
-------------	--	-------------	---



町の医療拠点が集まる長浜地区

朝日診療所の歴史

診療所は、かつて医師が不在となり、多くの町民が身近にある医療機関の大切さを実感、現在に至っている過去がある。

交流施設に係る調査特別委員会	
目的	「八十里越」開通後を見すえ、「交流促進センター」の今後の在り方等を調査
委員構成	議長を除く全員（委員長・佐藤孝義 副委員長・鈴木好行）
期間	平成30年12月会議まで
調査項目	施設運営の現状と今後の改善策、滞留人口対策と将来構想など

○	○	×	○	×	○	○	×	○	欠
山岸国夫	鈴木好行	藤田力	目黒仁也	中野大徳	大塚純一郎	目黒道人	鈴木征	佐藤孝義	酒井右一

賛成討論	<p>■ 「八十里越開通」を控え、今までの検証や課題、今後を考えるのは重要だ。</p>	反対討論	<p>■ 宿泊規模拡大と云う意見には反対だ。町内民泊を支援すべきだ。</p>
-------------	---	-------------	--



只見町交流促進センター湯ら里

湯ら里の歴史

平成6年11月只見町と千葉県柏市は「ふるさと交流姉妹都市提携」を調印。町は都市との交流その拠点施設として平成8年4月現在の季の郷・湯ら里を開業した。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.16



アカシヨウちゃん

『出納閉鎖』って なあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん 6月会議で「出納閉鎖」ってあったけど、どんなことなの。

広報広聴委員長 地方自治法で決められていて、役所特有の言葉だよ。

ブナりん そうなんだ。

広報広聴委員長 5月31日で歳入歳出の収支を確定することを出納閉鎖というんだよ。そして、歳入歳出決算書が作成されて議会に報告されるんだよ。(歳入→収入、歳出→支出)。

アカシヨウちゃん どういうことなの。

広報広聴委員長 町の会計年度は4月1日から翌年の3月31日までの期間とされていることは知っているよね。



アカシヨウちゃん 町の用語って分かりにくいけど、一つ勉強になったよ。



イワっぺ 知っているよ。でも、どういう関係なの。

広報広聴委員長 4月1日から5月31日までの2か月間を出納閉鎖期間と言って、3月末日までの未収や未払いとなっている現金の会計(町は出納と言ってる)上の整理を行なうことが認められているんだよ。

只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。





一般質問

- **大塚純一郎** 14
只見ユネスコエコパークの活用策は
- **藤田 力** 15
来年以降の退職者の再任用は
- **佐藤 孝義** 16
県営中山間地域総合整備の対応は
- **鈴木 征** 17
町道真奈川線の整備継続を
- **目黒 仁也** 18
スポーツパーク計画を進める腹は
- **鈴木 好行** 19
日本一子育てしやすい町を目指せ
- **酒井 右一** 20
人口減少による公共施設の統廃合は
- **目黒 道人** 21
公共施設の受動喫煙防止対策は
- **山岸 国夫** 22
学校給食費の無料化を求める
- **中野 大徳** 23
道の駅整備について現在の考えは

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行なうことです。

町政を問う

町を想い10名が

只見ユネスコエコパークの活用策は

答 全国に発信し更にブランド向上を



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問 平成26年6月に登録された只見ユネスコエコパークは、4年が経過した今、具体的な活用策は。

答 「自然環境、野生生物の保護・保全」、「調査研究・教育及び人材育成」、「地域の持続可能な社会経済的発展」の3つの機能を有するものとして設けられた。

「自然首都・只見」宣言から10年を経た本年度は、これまでの取り組みを振り返り、「全国ブナ林フォーラム」を10月に開催する。只



浅草岳のブナ林

見町を全国に発信し、只見町の更なるブランド向上に結び付けたい。

問 只見町の観光パンフレットにユネスコエコパーク登録の表記が小さく、PR、宣伝としての役割が果たされていない。

答 集客、誘客に結びつく観光パンフレットになる様、再確認をし、見直しを

図っていく。

問 現在の観光客はどれくらい来られているのか。また、今後の目標は。

答 平成28年度は、27万人台、平成29年度は、25万人台で災害等の影響で2万人減少した。今後の目標として、30万人台を目指していく。

シルバー人材センター設立を急げ

答 設立に向けた取組みを進めたい

問 町長が明言しているシルバー人材センターの設立について、進捗状況が見えない。

答 設立に係るニーズ調査について、58歳から80歳までの町民の中から無作為抽出し、670名に発送して回答者は303名、回収率は45.2%であった。

集計結果を踏まえ、課題を整理し、他市町村の取組事例等も参考とし、設立に向けた取組みを進めたい。

問 町として設立の必要性は、どの様に認識しているのか。

答 高齢者に短期的で軽易な業務を提供すると共に、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献するものである。それが町の経済活動を補完する。

問 いつまでも計画、検討に時間をかけていると、できる人が高齢になり、できなくなってしまう。まずは出発させる事が必要と思う。

答 できるだけ早く設立できる様に進めたい。

来年以降の退職者の再任用は

答 同様の運用を考えている

問 町の最大の課題は、若者の定住である。定住にとって働き場や雇用は何よりも大事と考える。町は今春、4人の定年退職者を「再任用」という形で採用された。再任用の考え方や採用までの経過は。

答 公的年金の支給開始が60歳から65歳に引き上げられた

のに伴い、無収入期間が発生しないよう年金支給までの間、希望する職員を採用するものだ。県や他の市町村の状況を見て必要と判断し、今年からの再任用を決定した。

問 今春、町職員を1人も採用しなかった。再任用のためか。

答 残念ながら、採用基準に至らなかった。

問 来年以降もこの再任用制度で定年退職者を採用するの

答 来年度以降も同様の運用を考えている。



ちから 藤田 議員



伝承産品など只見には、素晴らしい産品が多い

ふるさと納税の目標を1億円に

答 達成はかなり厳しい

問 ふるさと納税が明るい話題と

なっている。町は、生まれ育ったふるさとに寄付という形で応援できるこの制度をもっと活用し、地域振興を図るべきと考える。昨年度の実績と具体的な使

答 道は。昨年度の寄付金額は、7,452,623円。使い道は、一旦「自然首都・只見応援基金」に積み立てし、後ほど寄付目的に応じて使用する。

問 町外にいる町出身者や町に関わりのある方にPRすべきと思う。現在の宣伝方法は。

答 町ホームページと委託先の（株）ラストバンクのポータルサイト「ふるさとチョイス」に掲載している。

問 寄付の受入額について、近隣の町村に比べて少ないと思う。低迷している原因は。

答 近隣町村と比較しても、おおむね遜色ないものと認識している。

問 PRについては、町外の会社におまかせしている感じがある。町内組織や応援団を立ち上げ、1億円を目標とすべきと考える。

答 目標値を定めて取り組むことは大切と認識しているが、1億円の達成はかなり厳しいと考えている。今後、より知恵を絞って検討する。

県営中山間地域総合整備 の対応は



議員 佐藤孝義

答 採択に向けて取り組む

答 事業対象範囲は、町内全集落から事業要望を受けて町内の農業振興地域を対象とし、期間は、採択後の調査に2年、事

問 工事期間は5年と聞いたが、対象範囲と金額的に可能か。

答 事業申請内容は、農業用排水路22カ所、農道21路線、防火水槽3カ所、農地防災3カ所で、予算規模は、概算で総事業費16億円。

問 今年度の事業内容と予算規模は。

答 事業申請内容は、農業用排水路22カ所、農道21路線、防火水槽3カ所、農地防災3カ所で、予算規模は、概算で総事業費16億円。

答 事業対象範囲は、町内全集落から事業要望を受けて町内の農業振興地域を対象とし、期間は、採択後の調査に2年、事

問 今後、県との調整や集落との協議を重ねながら採択に向けて取り組む。

問 農業を取り巻く環境が変化していく中、町単独ではできない事業なので、真剣に取り組んでいただきたい。

答 受益者負担は、これまでと同様に、業と同様の負担割合を考えている。また、用排水路や道路改良などにより営農環境が改善され遊休農地解消にもつながると考える。

問 受益者負担は従来通りあるのか。また、本事業で耕作放棄地の整備は可能か。

業採択及び決定に1年、その後工事期間5年を予定している。

問 現在、地元集落では、花見山のような存在にしようとする計画を練っている。町も一緒に考えていただきたい。

答 射撃協会の所有となっており、関係機関と協議している。

問 公園内に射撃場のコンクリート残骸が残っている。撤去できないか。

答 地形的な条件から、多額の事業費を要するなど早急な対応が困難な箇所と考える。

問 危険な現在の進入路を改良できないか。

危険な現在の進入路を改良できないか。

比良林公園の再整備を

答 活用を検討していく



比良林公園

問 この地域は、湯ら里からの遊歩道も整備されており、

答 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

問 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

答 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

問 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

答 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

問 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

答 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

問 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

答 以前に、コミュニティ助成事業を活用して計画されたが、不採択となった経緯がある。

町道真奈川線の整備継続を

答 引き続き利便性の確保に努める

問 昨年12月の一般質問で、「観光などに役立つので通行に支障のない管理に努める。」と答弁されているが、今後の整備と現在の管理状況は。

る。引き続き利用者の利便性と安全確保に取り組んでいく。

問 電源開発株式会社がこの奥地に残土処理場を求め、併せて舗装工事を行うと聞くが、町はどこまで認識しているのか。

しかし、蒲生地区との協議が未了でそれが正しい次第今後町にも具体的な計画が示されると考えている。

答 同社は、滝ダムの浚渫土砂の処理を本路線周辺に計画しているが、町道利用について現在協議中だ。

問 この路線のこの何年かの整備管理状況を伺う。

過去5年間、毎年250メートルから300メートル程度舗装を行っている。全体8.2キロメートルの内28キロメートルが舗装済で舗装率は34%となっている。今後電源開発と町道整備の協議もある。

答 「あがりこの森」の観光利用の状況は。

集落で整備されたところであり詳細なデータはつかないが、ブナセンターでも活用され30名程度の利用があった。

問 既に集落で整備されているので、そのまま確保されると思う。

答 真奈川線は生活道路だ。過去には年間約300万円位の予算で整備を実施してきたが継続性がない。そして橋も古くこの際協議をして永久橋にすべきではないか。

答 電源開発との協議でいくつかの橋も当然対象となると考えている。そうでないと車両が入れない。集落意向が優先だが今後待避所なども含め協議していきたいと考えている。



議員 鈴木 すすむ



町道真奈川線

スポーツパーク計画を進める腹は

答 早く決めないと次に移れない



議員 黒仁也 目録

問 亀岡スポーツパークは、「子供の教育」という視点もある。教育長はどのような

答 現在の低学年の総合学習の時間で使っている。人材育成や体力向上に成果が上がっていると考えている。

問 亀岡スポーツパークの整備基本計画を29年度事業で実施されているが内容を伺いたい。



日本バレーボール協会の小田氏来庁

答 進入路と車約40台分の駐車場の実施設計とクラブハウスを管理棟の西側に整備すべく基本設計をお願いした。シャワーやトイレ、会議室などが含まれる。

問 今年やる駐車場以外はいつ実施するのか。

答 再度内容を検討し実施計画の中で時期は考えていく。出来るだけ早い時期にそこは整備したい。

問 早急に方針を出すべきだ。

答 まず、内部検討させていただき

たい。五輪以降のビーチバレーの発展性なども整備する側として理

問 解しておく必要がある。当初計画を絞り込み、最低限の整備内容を基本計画に盛り込まれたと理解している。町長としてきっちりやる腹はあるのか。

答 出来るだけ早く亀岡を決めない

と次に移れない。早く方針を出す。

湯ら里再整備の考えは

答 急ぐ必要がある

問 前回、財政負担と施設の構造上の課題を取り上げ、湯ら里の再整備の必要性を申し上げた。町長は理解を示されたが実施時期は。

答 現在4千万円の指定管理料。決算委員会でも指摘がある。急ぎ対応する必要

があると考えている。

問 昨日、日本バレーボール協会の

ビーチバレー強化委員長が活動拠点候補の視察に亀岡に来られた。町長もお会いになった

と思うが、今後合宿誘致で湯ら里に新たな誘客を取り込む絶好のチャンスだ。積極姿勢

で臨んでほしい。

答 短時間であったがお会いし、考

えをお聞きし今年の事業計画を説明した。初めてなので昨日は顔合わせで終わった。今後どのような形で拡大が見込まれるか研究した

い。

日本一子育てしやすい町を目指せ

答 努力したい

問 将来の経済や社会保障制度を支える子どもたちは町の宝、日本一出産や子育てをしやすい町を目指す考えはないか。

答 日本一になれるかどうかは分からないが、しっかりとした計画を立て、努力したい。

問 「只見町子ども子育て支援事業計画」の4年間の実績と効果について、どのように評価しているか。

答 5カ年計画であり、来年度効果検証と併せて計画の改定などを審議する予定だ。

問 未婚化・晩婚化対策において、町独自に取組む姿勢が大切だ。今後の計画は。

答 晩婚化対策として「結婚新生活支援補助金」を新設した。未婚者に対しては「はぴ福なび」への加入推進を図る。町独自の出会いの場づくりは参加者が少ないなどの理由から現在実施していないが、今後検討したい。

問 保育料完全無料化にする考えはないか。

答 保育料完全無料化にする考えはない。

問 今年度から年中児まで無料化を実施したが、今後の国の動向も踏まえ、検討したい。

答 ひとり親家庭の自立支援、重度心身障害児介護手当、療育児童通院交通費給付事業など経済的支援が不十分だ。今後の考えは。

問 計画の見直しを含め、検討したい。

答 計画の見直しを含め、検討したい。

新たなU・Iターン政策はあるか

答 定住ガイドブックの整備を検討中

問 住ガイドブックなどにより、積極的にPRしていく。

答 現在外国人技能実習制度を利用した実習生が来ているが、企業と連携して積極的に移住を促進してはどうか。

問 企業や地域の皆さんながら移住促進について検討する。

答 町長として外国まで出向いて、若い子育て世代の人たちに移住を促進するというようなトップセールスを行なう考えはないか。

問 外国だとその国の制度や法律がある。できるかどうかもう少し勉強したい。

答 移住希望者への積極的な売り込み政策はどのように考えているか。

答 子育て支援の充実や、新規就農者への支援の充実した制度により、当町の優位性をアピールし、定



議員 好行 鈴木 好行



子育て広場

人口減少による 公共施設の統廃合は



さか い ゆう いち
酒井 右一議員

答 町民のために診療所は不可欠

問

只見町人口ビジョンでは、町が設置している各公共施設は「統廃合もやむなし」と考えざるを得ない施設もある。また、3月会議において町長も同様の答弁をしている。国保朝日診療所についてどうか。

答

町民の命を守るために診療所は不可欠。診療所をなくさないよう医療スタッフの体制を検討していく。

問

町長は人口ビジョンで町の将来人口を3千人として

いる。私は6千人を維持しなければ社会機能が失われると言ってきた。去る3月に配布された朝日診療所経営健全化計画（以下、健全化計画）の策定過程では人口減少について考慮したか。

答

考慮していない。

問

国道289号が通過車両が年間60万台増加するとも言われる。診療所の救急救命の在り方が変わると思われる。この点は考慮されたか。

答

考慮していない。

問

診療所の全体を収支を論議すべきではないが、健全化計画では大きな経営赤字が計上されている。これを健全化計画の推進期間（3年）で目標達成で

答

現実的には厳しい。

問

診療所スタッフの充実とより良い地域医療を維持するためには、スタッフと町長の濃密なコミュニケーションが必要ではないか。

答

理解できる。最低でも四半期に1回行なうと考えている。

問

健全化計画は、町の主要施策になっていない。町の主要施策（主要事業）として推進を管理し進捗状況確認しながら、健全化計画を評価していく考えはないか。

答

趣旨を理解した。庁議で検討し決める。



朝日診療所

公共施設の 受動喫煙防止対策は

答 禁煙に向け取り組んでいきたい

問 町の税収は減っている。昨年度のたばこ税はいくらか。

答 2,250万円だった。

問 税収減の我が町にとって大きな金額である。たばこ税は直接税だ。貴重な財源だがどう考えるか。

答 財源としては貴重だ。しかし、一般的には健康被害や火災など税収を上回る損失額が出ているとされている。

問 健康ただみ21計画には受動喫煙防止対策として「公共施設では禁煙を徹底しましょう」とある。役

場では徹底されているか。
答 徹底された状況ではない。分煙や喫煙所の場所など検討したい。

問 甘い答弁だ。徹底なので分煙は論外である。県が実施している「空気の流れいな施設」認証制度のガイドラインでは「施設に灰皿がないこと」とされている。徹底ならば禁煙しかない。ちなみに副町長、県庁はどうか。

問 西庁舎内に通称「たばこ部屋」という喫煙所がある。県庁がまず出ていない。大きい

答 禁煙はとても苦しい。もし町民がたばこを止めるなら、たばこ税2,250万円を捨ててもいいと思っている。課題は多いが禁煙に向け議論をしていきたい。

問 保養センターの受動喫煙防止対策はどうか。

答 テーブル席は終日禁煙。大部屋、個室は17時以降が喫煙可となっている。今後、全面禁煙に向けて指定管理者と協議したい。

問 レストランやバーを禁煙にしても減収はなく、むしろ売上増との調査結果もある。保養センター

な組織なので取り組みは難しいのかもしれないが、町村が真似をする必要はない。さて町長、県ができないなら町村から、という気概を示してはどうか。

問 空気の流れいな施設に南会津町

答 検討したい。

役場と3支所はすでに登録済みである。只見町役場も登録するか、登録しないか。

答 努力していきたい。



とみちみち黒目 議員



ひとつぶろまち湯キッズルーム

学校給食費の無料化を求める



やまぎしくに お 議員
山岸国夫

答 保育料優先、給食無料化は後になる

識は。

問

学校給食法の町の負担区分の認識は。

施策を踏まえ考える。対策及び国・県の事業無料化は、他の少子化

答

これまで、毎年600万円を支援し、地元食材の活用

せ。

問

子育て支援、食育の推進を図る学校給食費の無料化を提案してきた。町は早急に決断すべきと考えるが、方針を明確に示

問

給食法の規定は、施設・設備等は町、材料・光熱費は保護者負担となっている。

答

無料化している自治体は、経費負担扱いについて、文部科学省の「保護者の負担を軽減することは可能としている」、「負担軽減を禁止する趣旨でない」、「軽減の方法に制約ない」との回答を得て実施している。また、学校給食法が施行された当時の文部事務次官通達でも自治体が食材費を負担することを禁じない旨を明記している。町の他の少子化対策と給食費の無料化への道筋を示せ。

当初予算編成・実施計画を見ながら判断し、年長から無料化を開始した。給食費は後にな

問

る。

「公会計」扱いとする検討は。昨年質問時は83市町村、今年4月から相馬市、飯館村も無料化し県内の32%の自治体が全額補助、半額補助など実施している。また、群馬県では無料化した自治体のシンポジウムも開かれた。これらの自治体の共通する位置づけは、「未来を担う子供たちへの暖かい手を差し伸べる」、「父母への援助」、「町・学校・父兄が一体で子育てする」ことにある。財政処置の計画を持ち給食費無料化への段取りを図れ。

答

国の動向を見ながら、予算編成時に財政的に可能かどうか考えていく。

問

給食費納入は口座引き落としで学校の「私会計」となっている。町が管理する

答

学校事務の軽減を図るために導入が検討されている。町の課題等を整理していく。

他に国の生活扶助基準最大5%引き下げで、町民生活への影響はどうなるか質問した。



只見小学校での親子給食（出典：只見小学校）

道の駅整備について 現在の考えは

答 整備が必要不可欠だと認識

号全線開通前に整備したいと発言されているが、現在の考えは。

問 八十里越開通前に間に合うのか。
答 間に合うよう努力する。

問 J R只見線の復旧計画が決定し、平成33年度中の復旧を目指し、本年6月より本格的に復旧工事が開始される。只見線は、上下分離方式により県、各市町村の負担金が発生し、開通後は赤字路線からの脱却が求められる。現在の考えは。

答 県と会津17市町村などによる県J R只見線復興推進会議において、本年3月に只見線活用計画が策定された。計画では、会津の自然や文化に触れる事ができる企画列車の運行や、子供たちを対象にした学習列車の運行など、9つの重点プロジェクトを掲げ

ている。2022年度までの5ヶ年計画で最終年度では、企画列車の運行利用者数3,600人、学習列車の参加校数60校、外国人宿泊旅行社数4,800人などを目標とし、只見線の利用者を増やす様々な取組みが行なわれる。

問 物流業界ではドライバー不足等の観点から鉄道輸送が見直されてきている。農産物や工業製品の輸送等、只見線で貨物輸送等の提案を。

答 然るべきところで提案する。

問 道の駅について、国道289



道の駅あいづ

只見地区圃場整備の進捗は

答 平成31年度採択を目指し協議中

問 稲作農業において只見地区は圃場整備が急務と考える。只見地区の圃場整備について、現在の進捗状況は。

答 只見地区の圃場整備事業は生産性の向上と作業の効率化による農業振興に効果が大きい事業と認識している。現在、事業推進に向け只見地区役員の皆様と協議検討を重ねており、平成31年度の事業対象地区への採択を目指し、県と協議を進めている。

のりたかのなか
議員 大野 中

只見町の好きなおとこ



只見高校 3年

佐藤 海夢

私が只見町で最も好きなおとこは、この只見町の自然です。只見町には、「イワナ」を含め20種以上の魚が生息しています。そして水がきれいな場所に生息する「カワセミ」や、森の女王と呼ばれる「ブナ」も自生しています。どれも只見町の自然の豊かさを示しています。私は、このようなユネスコエコパークにも登録された自然を守っていきたくと思っています。それには、若い人達の力が必要です。若い人達が只見町に興味を持ち、この素晴らしい自然を守ってくれることを期待したいと思います。

只見町のこれから



只見高校 3年

菊地 優花

私は、行政を担当する方だけでなく、町民全員でより良い只見町を創っていくという意識が町の活性化へと繋がると考えています。なぜなら、只見町には優れた資格を持っている方が大勢いますが、そうした資格を持っている人達の能力を生かす適切なサービスや企業が不足していると感じるからです。そこで、個々の能力を生かしていくために、資格を持っている人やその他の人々との間で互いの意見を交換し合える機会を設け、より良い町づくりをしていくべきだと考えます。

ご意見・ご要望をお聞かせください!!

まちづくりの課題などについて、町民の団体やグループから議会へご意見をお聞かせください。あらかじめ決めていただいたテーマにそって意見交換をします。

<テーマ>

団体やグループであらかじめテーマを決めてお申し込みください。

※「町が発展するためには何が必要か」等まちづくりに提言したい内容など何でも構いません。

<開催方法>

日時、場所については、ご相談させていただきます。

なお、参加議員は団体やグループの人数に応じて対応させていただきます。

<申込み方法及び申込み先>

議会事務局へご連絡の上、指定の申込書を提出してください。



編集後記

今年も異常気象なのかと思う。豪雪と思った雪もたちまち消え、六十里も連休前に再開通となった。その後は、猛暑が続き梅雨になっても雨不足？何と云っても米やトマト・花・アスパラなどの生育が心配になる。米あまりなどと言われても実りの秋、収穫の秋を迎えたい。

(藤田 力委員)



発行責任者

議長 齋藤 邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 藤田 力

大塚純一郎

山岸 国夫

鈴木 好行